

市議会の会議の様子を自由にご覧いただけます。

Q：市議会の会議を見たいのですが…

A：各種会議を公開しています。

※16歳未満の人は、成人の付き添いが必要です。

■3、6、9、12月

次の会議が傍聴できます。

★定例会（全議員で構成する会議。上程された案件を審議）

上程：会議の日程に組み入れて、議題とし、審議の対象とすること

■必要に応じて

★臨時会（定例会では間に合わない場合に開催し、上程された案件を審議）

★各派代表者会議（各会派の代表者間の会議）

★議会運営委員会（議会の議事運営を協議）

★常任委員会（上程された案件を分野ごとに審査）

【総務文教、市民福祉、経済建設の3委員会】

★特別委員会（特定の案件の調査、研究を行う）

【高等教育機関調査特別委員会】

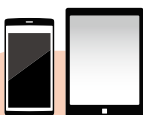
★全員協議会（市政に関する重要な事項等を協議

または調整）

★常任委員協議会（常任委員会の所管に関する事項を協議または調整）

★議会報編集委員会（市議会だよりの編集）

Q：どこに行けばいいのですか？

A：定例会や臨時会の
本会議は三条庁舎5階、
その他は4階です。スマートフォンや
タブレットでも

インターネットで市議会の模様を配信しています。

定例会や臨時会の本会議の様子は、録画中継でご覧いただけます。

なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。

視聴の方法

三条市ホームページの **市議会のページ** へ
をクリック(三条市ホームページのアドレスは
<http://www.city.sanjo.niigata.jp/> です。)さらに **インターネット会議中継** **三条市議会インターネット会議中継トップページ** へ
をクリック

視聴したい会議を選択してご覧ください。(検索は会議名、議員名、会派名、質問項目を対象としています。)

【決算審査特別委員会
審査レポート】

総務文教分科会

野寄久雄 主査

ふるさと三条応援寄附金返
礼品 今後の国の議論結果
により見直し

問 ふれあいトークの巡回型は6回開催し参加人数は442人。想定と比べてどうだったか。

答 年度によってやり方を変えている。期待した人数で、これまで偏った構成の参加であったのが、幅広く参加いただけた。

問 ふるさと三条応援寄附金の返礼品について、国は地元産品に限定する考えのようだ。カタログギフトに掲載の商品もそうなると思うが、どう解釈しているか。

答 今後の国の議論を踏まえ、カタログギフトに掲載の商品が地元産品でないという結果になれば、返礼品から除外せざるを得ないと考えている。

問 平成29年度の利用率が10%未満であった施設はどうなるか。

答 公共施設再配置計画にある今後廃止および解体を検討する施設の利用率が10%を切った段階でどうするということではなく、平成28年度から平成47年度までの20年間の計画であり、現在の施設をより多く利用してもらうことをお願いしている。

問 学びのマルシェの開始当初の中学3年生は、現在大学生の年齢になっている。成果や結果はどうか。

答 大学への進学について、今年度受講生に対して協力願うことを検討している。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

市民福祉分科会

小林 誠 主査

より効果的な運営を目指し、
各事業で見直しを実施

問 完熟堆肥化センターは、事業所等から生ごみを集めて堆肥化するのに約1600万円掛かるのに対し、堆肥の売り上げが約64万円という状況。開設から既に約7年が経過しており、このままで運営を継続するのは限界ではないか。

答 循環型社会の形成を目指す上で必要な施設ではあるが、事業所から徴収する処理手数料と堆肥の売り上げで必要経費を賄うという当初の計画から相当乖離している状況。今年度中に費用対効果をしっかり検証し、施設の在り方について検討を進めたい。

問 芸術鑑賞ツアーについては、市民のニーズが非常に高いこと、文化会館を自前で持つと高額の維持管理費が毎年発生することを考慮すれば、事業費が約150万円では少な過ぎる。また、市民による実行委員会を組織して一部でも企画や運営を任せれば、芸術を愛する人の裾野がより広がるなどの事業効果が期待できるのではないか。

答 この事業の財源となる文化振興基金の有効な活用について所掌する文化芸術振興に関する懇談会の意見も聞いて検討したい。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

経済建設分科会

山田富義 主査

農業担い手確保育成事業に
おいて、新たな研修先を追加

問 農業担い手確保育成事業の研修生は最終的に下田地域で就農するため、条件の似ている県内の先進農家を研修先とするほうが効果的ではないか。

答 現在の県外の研修先は、栽培に限らず経営や販売等の戦略にたけている方向で検討していきたい。

問 魅力ある持続可能なまちづくりのためにこれだけの商工費を執行したわけだが、成果をどう受けとめているか。

答 若年者の転出抑制、転入促進にはさまざまな施策の重層的な実施が重要である。これらにしっかりと取り組む中で人脈ができ、思いがけないアイデアをもらったりいろいろな取り組みに参画できたために、転出入それぞれに効果があったと考えている。

問 社会資本包括的維持管理委託を開始して1年経つが、これまでの成果や今後の方向性は。

答 道路補修等の対応が迅速化し、建設業者の仕事量も確保されたが、建設業者を取り巻く経営状況は十分に改善していない。業務の内容や区域について検討していきたい。

認定第1号は賛成多数で、認定第2号は全員異議なく認定すべきものとした。